

2019 年度（令和元年度） 私学支部研修会報告

〈第 1 回研修会〉

- 1 日 時 2019 年（令和元年） 5 月 1 0 日（金曜日） 14 時～16 時
- 2 場 所 兵庫県私学会館
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 4 丁目 3-13
TEL (078)331-6623 FAX (078)321-5968
- 3 内 容 講演
テーマ：「学校図書館のための YA 文学ガイド」
- 4 講 師 金原瑞人【翻訳家・法政大学社会学部教授】
- 5 参加者数 33 名
- 6 事例、感想、参考文献等

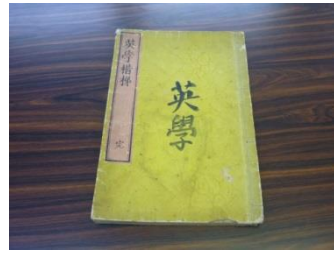
講師には、翻訳家であり、ヤングアダルト分野を中心とした翻訳活動を精力的に行っている金原瑞人氏をお迎えし、中学校・高等学校の図書館が直面している「今の生徒が求めている、おもしろい本（YA）」について講演をしていただいた。

古代メソポタミアに始まった「書物」が、古代・中世・近世を経て、一部の特権階級のための記録や読み物であったものから誰もが手に取ることが出来る書物となった歴史、そして、今回のテーマであるヤングアダルト小説（YA 小説）につながる「小説」の誕生とその歴史を、小説の読者である「大人」「子ども」「若者」という社会的存在が発見された歴史と重ね合わせながら、今私たちが手にしている「小説」がどのようにして社会の中で生まれ、誰のための読み物として変化してきたのか、時代の流れの中で話していただいた。

1950 年代のアメリカで認知された「若者」という存在と、彼らに対する社会の動きや文化の変遷、そして、その大きな社会の流れから生まれた YA 小説が描いたテーマなど、YA 小説の誕生について詳しく語るとともに、「若者」たちが抱えるさまざまな悩みや非行の問題を扱う小説として生まれた YA 小説が、それ以前にあった若者小説とどこが違うのかなどの興味深い話が続いた。日本における YA 小説の歴史についても、1980 年代にはじまった試行錯誤とその後の YA 小説の広がり、そして定着の様子が、初期を担った作者や作品名と出版社の試みとともに紹介された。アメリカの YA 小説の誕生以前に書かれ、現在も読み継がれている作品として特に挙げられたのが、サリンジャーの『キャッチャー・イン・ザ・ライ』（1951 年）であった。この作品については、主人公の設定、これ以前に書かれた短篇から読み取れること、著者と作品に大きな影響を与えた戦争についてなど、あまり知られていない興味深いサリンジャーの話まで聞くことが出来た。

最後に、「おもしろい小説を紹介して欲しい」という他者からの要望に対する金原氏の葛藤と、本と一人ひとりの読み手との関係について思うことなどが熱く語られた。また、絵本とグラフィックノベル（漫画）の良さについても熱く語り、ぜひ、学校図書館に入れて欲しいという想いが伝えられた。

全体を通して、それぞれの時代を反映する児童小説や YA 小説のタイトルが紹介されたほか、質疑応答においても、自身の体験をもとにした電子書籍と紙の本に対する想いや、翻訳活動を通して感じた社会の変化についてなど、活躍中の翻訳家ならではの情報も語られて大変有意義な講演であった。



〈第2回研修会〉

- 1 日時 2019年（令和元年）11月7日（木曜日） 13時半～16時
- 2 場所 六甲学院中学校・高等学校 多目的室1
〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町2丁目4番1号
TEL 078-871-4161（代）／ FAX 078-871-4688
- 3 内容 「演劇・パフォーマンスと読書」
講談調芝居「悟浄出世」「悟浄歎異」（中島敦より）
- 4 講師 ニノ宮修生氏（小劇場「イカロスの森」代表）
- 5 参加者数 16名
司会：大西 昌宏（六甲学院中学校・高等学校）

6 事例、感想、参考文献等

もとなっているのは「西遊記」。大西先生がご自身のターニングポイントにもなったという作品である中島敦「悟浄歎異」「悟浄出世」を、中高生に対して朗読でその魅力を味わって貰うというコンセプトで行われました。

この2作品のダイジェスト版として大西先生が作成された脚本をもとに、ニノ宮修生氏、悟空役を大西先生、八戒役を澄川先生が朗読。堺正章主演の「西遊記」のDVD上映も組み込まれた楽しい研修会となりました。

